



HUU を使用した Cisco UCS C シリーズ サーバーのファームウェアの更新

- [ファームウェアの更新 \(1 ページ\)](#)
- [更新のための ISO ファイルのダウンロード \(1 ページ\)](#)
- [ファームウェア更新のための ISO ファイルの準備 \(2 ページ\)](#)
- [ファームウェアの更新およびアクティブ化 \(6 ページ\)](#)
- [更新されたファームウェア情報の表示 \(7 ページ\)](#)

ファームウェアの更新

ここでは、C シリーズと S シリーズ サーバー ファームウェアのアップグレードまたはダウングレードの手順とアップグレードまたはダウンロードに使用可能なさまざまなオプションについて説明します。



(注) Cisco IMC ファームウェアを更新したら、互換性マトリクスをチェックして、更新されたバージョンの Cisco IMC にドライバが準拠しているかどうか確認する必要があります。ドライバのバージョンが準拠していない場合、Cisco IMC のバージョンに一致するようにドライバのバージョンを更新する必要があります。

「ハードウェアとソフトウェアの相互互換性マトリクス」については次を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/ps10477/prod_technical_reference_list.html

更新のための ISO ファイルのダウンロード

ステップ 1 次の URL に移動します。 [ソフトウェアのダウンロード](#)

続行するにはログインする必要があります。

- ステップ2 ユニファイド コンピューティング を検索します。
- ステップ3 中央のカラムで、[Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software] をクリックします。
- ステップ4 右側のカラムでサーバーのモデル名を選択します。
- ステップ5 [Unified Computing System (UCS)Server Firmware] をクリックします。
- ステップ6 左ペインから、リリース番号を選択します
- ステップ7 [ダウンロード]アイコンをクリックして ucs-server platform-huu-version_number.iso ファイルをダウンロードします。
- ステップ8 [ライセンス契約 (Accept License Agreement) に同意する] をクリックして、ダウンロードを開始します。

次のタスク

ISO を準備します。

ファームウェア更新のための ISO ファイルの準備

始める前に

ISO ファイルがダウンロードされ、保存されていることを確認します。

ローカル更新用に ISO を準備する場合は、手順を開始する前に次の手順を実行します。

1. 書き込み可能なディスク (CD/DVD) に ISO イメージを書き込むか、USB ドライブにそれをコピーします。
2. USB キーボードと VGA モニタをサーバに接続します。
3. サーバーの USB DVD ドライブにディスクを挿入するか、USB ポートに USB ドライブを挿入します。

- ステップ1 ブラウザを使用して、アップグレードするサーバー上のソフトウェアに接続します。
- ステップ2 ブラウザのアドレスフィールドにサーバーの IP アドレスを入力し、次にユーザー名とパスワードを入力します。
- ステップ3 ツールバーの [KVMコンソールを起動 (Launch KVM Console)] をクリックします。
ブラウザでポップアップ ウィンドウが許可されていることを確認してください。KVM コンソールが別のウィンドウで開きます。
- ステップ4 KVM コンソールから、[仮想メディア (Virtual Media)] タブをクリックします。

(注) 読み取り専用ユーザーは仮想メディアを使用できません。

次のいずれかのオプションを使用して、仮想メディアを作成できます。

名前	説明
Create Image	<p>ISO イメージを作成できます。[Create Image] ダイアログボックスでファイルまたはフォルダをドラッグアンドドロップします。これらのファイルまたはフォルダは ISO イメージに変換されます。ローカルマシンに ISO イメージを保存するには、[ISO イメージのダウンロード (Download ISO Image)] ボタンを使用できます。</p> <p>(注) [イメージの作成] オプションは、Safari ブラウザーでは使用できません。</p>
vKVM-Mapped vDVD	<p>[仮想メディアのマップ - CD/DVD] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、ローカルコンピューターから ISO イメージを選択し、ドライブをマップできます。</p>
vKVM マッピングされた vHDD	<p>[仮想メディアのマップ - リムーバブル ディスク] ダイアログボックスを開きます。ローカルコンピューターから ISO イメージを選択して、ドライブをマップできます。</p>
vKVM-Mapped vFDD	<p>[仮想メディアのマップ - フロッピー ディスク] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、ローカルコンピューターから ISO イメージを選択し、ドライブをマップできます。</p>
CIMC-Mapped vDVD	<p>[仮想メディアのマップ - CD/DVD] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、ローカルコンピューターから ISO イメージを選択し、ドライブをマップできます。また、マッピングを保存、編集、および削除することもできます。</p> <p>表 1 : [Add New Mapping] ダイアログボックス (4 ページ) を参照してください。</p>
CIMC-Mapped vHDD	<p>[仮想メディアのマップ - CD/DVD] ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスでは、ローカルコンピューターから ISO イメージを選択し、ドライブをマップできます。また、マッピングを保存、編集、および削除することもできます。</p> <p>表 1 : [Add New Mapping] ダイアログボックス (4 ページ) を参照してください。</p>

表 1: [Add New Mapping] ダイアログボックス

名前	説明
[名前 (Name)] フィールド	仮想メディアのユーザー定義名。
NFS ボタン	ネットワーク ファイル システム ベースのマッピング。
CIFS ボタン	共通インターネットファイルシステムベースのマッピング
HTTPS	HTTP ベースまたは HTTPS ベースのマッピング。
[ファイルの場所] フィールド	次の形式の .iso ファイルの場所 : <ul style="list-style-type: none"> • <IP アドレスまたは DNS 名>[:ポート]/.iso ファイルパス
[ユーザー名 (Username)] フィールド	(注) CIFS および HTTP/S ベースのマッピングでのみ使用できます。 ユーザ名 (該当する場合) 。
[パスワード (Password)] フィールド	(注) CIFS および HTTP/S ベースのマッピングでのみ使用できます。 選択したユーザ名のパスワード (該当する場合) 。

名前	説明
[マウントオプション (Mount Options)]フィールド	<p>(注) CIFS および NFS ベースのマッピングでのみ使用できます。</p> <p>選択されたマウント オプション。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NFS—NFS の場合、フィールドを空白のままにするか、次の 1 つ以上を入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> • wsize=VALUE • vers=VALUE • timeo=VALUE • retrans=VALUE • retry=VALUE • rsize=VALUE • CIFS の場合、フィールドを空白のままにするか、次の 1 つ以上入力してください。 <ul style="list-style-type: none"> • nounix • noserverino • sec=VALUE • vers=VALUE
[自動再マップ] チェックボックス	ホストシステムがメディアを排出すると、Cisco IMC はデバイスを自動的に再マッピングします。
保存された vMedia ボタン	右側に追加の領域を開き、それぞれのリストから保存されている vMedia を選択します。
[保存 (Save)] ボタン	vMedia を保存します。
[マップ ドライブ] ボタン	マウントされた vMedia を保存してマッピングします。
CD/DVD パネル	保存されている vMedia のリストを提供します。 CIMC マップされた vDVD オプションを使用してマッピングしている場合は、このリストから任意の vMedia を編集または削除することもできます。

名前	説明
[リムーバブル ディスク] パネル	保存されている vMedia のリストを提供します。 CIMC-Mapped vHDD オプションを使用してマッピングしている場合は、このリストから任意の vMedia を編集または削除することもできます。

次のタスク

ファームウェアを更新して、アクティブにします。

ファームウェアの更新およびアクティブ化

始める前に

ISO ファイルの準備ができていることを確認します。

ステップ 1 サーバーを起動し、[Boot Menu] 画面を開くよう求められたら、F6 を押します。

ステップ 2 [Boot Menu] 画面で、準備された ISO を選択します。

- ローカル更新の場合は、物理または外部接続された CD/DVD デバイスを選択してから、**[Enter]** を押します。
- リモート更新の場合、ISO イメージをマウントした場所を次のいずれかを選択します。
 - Cisco vKVM-Mapped vDVD
 - UEFI : CIMC マップされた vDVD
 -

ステップ 3 HUU をブートすると、**Cisco End User License Agreement (EULA)** が表示されるので、EULA を読み、**[承諾 (Accept)]** をクリックして続行してください。

ステップ 4 次のオプションを使用して、コンポーネントまたはドライブのファームウェアを更新できるようになりました。

- シングルクリックですべてのコンポーネントとドライブを更新またはアクティブ化するには、[ステップ 5](#) を実行します。
 - 特定のコンポーネントとドライブを更新またはアクティブ化するには、[ステップ 6](#) を実行します。
- (注) **詳細モード** が有効になっていることを確認します。

ステップ 5 **[更新してアクティブ化]** をクリックします。

[更新してすべてアクティブ化 (Update-activate All)] ダイアログボックスで、次のチェックボックスをオンにします。

- 永続的なメモリを除外するには、**パーシステント メモリを除外**します。
- ドライブを更新から除外するには、**ストレージ ドライブを除外**します。
- 更新後にサーバーを自動的に再起動するには、**電源を再投入してアクティブ化**します。

HUU は、該当するすべてのファームウェアを更新し、サーバーを再起動するか ([電源を再投入してアクティブ化] オプションがチェックされている場合)、またはユーザーがサーバーを再起動するのを待ちます。更新されたファームウェアは、次の再起動時にアクティブ化されます。

ステップ 6 特定のコンポーネントおよびドライブのファームウェアを更新するには、各コンポーネントまたはドライブのチェックボックスを使用して選択します。

[選択したコンポーネントを更新-アクティブ化] ダイアログボックスで、次のチェックボックスをオンにします。

- **パーシステント メモリを除外**して、パーシステント メモリを更新から除外します (パーシステント メモリが選択されている場合)。
- **ストレージ ドライブを除外**して、ドライブを更新から除外します (ストレージ ドライブが選択されている場合)。
- **電源を再投入してアクティブ化**して、更新後にサーバーを自動的に再起動します。

HUU は、該当するすべてのファームウェアを更新し、サーバーを再起動するか ([電源を再投入してアクティブ化する] オプションがチェックされている場合)、またはユーザーがサーバーを再起動するのを待ちます。更新されたファームウェアは、次の再起動時にアクティブ化されます。

または、目的のコンポーネントとドライブを選択した後、[その他のアクション] ドロップダウン リストから [更新] または [アクティブ化] を選択できます。

更新されたファームウェア情報の表示

ステップ 1 サーバーを起動し、[Boot Menu] 画面を開くよう求められたら、F6 を押します。

ステップ 2 [Boot Menu] 画面で、準備された ISO を選択します。

- ローカル更新の場合は、物理または外部接続された CD/DVD デバイスを選択してから、[Enter] を押します。
- リモート更新の場合、ISO イメージをマウントしている次のもののいずれか1つを選択してください。
 - Cisco vKVM-Mapped vDVD
 - UEFI : CIMC マップされた vDVD

.

- ステップ 3** HUU をブートすると、**Cisco End User License Agreement (EULA)** が表示されるので、EULA を読み、**[承諾 (Accept)]** をクリックして続行してください。
- ステップ 4** 次のオプションを使用して、コンポーネントのファームウェアまたはドライブを更新できるようになります。
- ステップ 5** ホームページから**[最終更新の検証 (Verify Last Update)]** タブをクリックします。
ファームウェアの更新履歴を表示できます。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。